

北監督署  
名北協会

## 合同で「全国安全週間キャンペーン」実施

市内北区の建設現場で

原田署長が作業員の皆さんを激励

全国安全週間初日の去  
る7月1日、当協会は名  
古屋北労働基準監督署と  
合同で名古屋市北区にあ  
る安藤建設(株)名古屋支店  
施工の「西部医療センタ



無災害での工事完了を要  
請し、激励する原田署長  
(中央)

―中央病院(仮称)新築  
工事作業所―、(株)日立製  
作所中部支社・鹿島建設  
(株)中部支店施工の「陽子  
線がん治療施設建設工事  
作業所」を訪れ「全国安



作業者の代表者に安全週  
間キャンペーン用品を手  
渡す池戸専務理事(左)

全週間キャンペーン」を  
実施した。

合同キャンペーンでは、  
北監督署の原田署長が集  
まった約500人の作業  
員を前に「管内の建設業  
で起きた死亡事故は、2  
009年には1947年  
の北監督署の創設以来初  
めてゼロに抑えることが



工事現場をパトロールす  
る原田署長ら

できたが、愛知県では死  
亡者数が50人、内10人が  
建設業の労働者であった。

原因として墜落・転落の  
割合が最も高い」と説明  
があり、北監督署が提唱  
している建設業における  
「01(墜落・転落)災害」  
の撲滅と、全工期の無災  
害完了を要請し、激励し



講習会場で安全週間キャ  
ンペーンを展開する事務  
局職員(協会大会議室で)

た。

また、当協会の池戸専  
務理事が合同キャンペー  
ンの趣旨を説明、「この  
夏も猛暑が予想され、体  
調管理を万全にして、定  
められた手順で仕事をす  
ることで、無事故・無災  
害の現場となるように頑  
張ってほしい」と訴え、  
安全週間キャンペーン用  
品(ウェットタオル)を  
作業員の代表者に手渡し  
、安全意識の向上をはか  
った。

その後、工事現場のパ  
トロールを実施し、墜落  
防止策などが講じられて  
いるか確認した。

また、当協会では全国  
安全週間中および準備期  
間中に、協会で開催する  
各種講習会場において、  
協会職員が受講生全員に  
安全週間キャンペーン用  
品を配布するなど、安全  
意識の啓発につとめた。